

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 5	地域との交流、連携の強化・継続 地域とのつながりが徐々に浸透してきているが、より密に連携が図れるように、地域との交流・関係を強化していく。	運営推進会議を中心に、グループホームたのしい家高雄の存在をより周知し、地域との情報交換を図り、地域で当ホームが果たせる役割を検討していく。	地域の行事に出来る限り参加する中で、特に地位の災害・防災対策に重点を置き、地域の防災訓練などには積極的に参加するとともに、ホームの消防訓練などにも参加して頂けるように協力関係を構築していく。	6ヶ月
2	1 1 1 3	職員の育成 事業所間の異動や退職に伴い、職員の出入りが続いており、新しい職員を育てる指導体制を整え、安定した業務が遂行できる環境を整備していく。	リーダー職員のみならず、全ての職員が新しい職員の指導できる体制を整えていく。	本社やホーム内での研修とともに、リーダーを中心に、新しい職員の指導方法、マニュアルを見直し、現場に即したOJTに取り組んでいく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。